

■ 問題行動の根源とは何か？

[社 会 学]

開講単位： 4単位 担当者： 服部 慶亘

学習目標

社会生活の中で、我々は様々な「問題」と遭遇する。「問題」の発生要因を知ることによって解決方法や防衛方法を理解するのが、本講義の目的である。

授業方法

教科書・参考書・プリント・板書を用い、受講生自身も陥りがちな問題点を指摘・講義する。必要に応じて、視聴覚資料を多用する。

授業計画〔各90分〕

1回目 講義目的・目標などの確認	14回目 期待される人間像
2回目 社会学を学ぶために	15回目 期待される人間像
3回目 「問題行動」のとらえ方	16回目 期待される人間像
4回目 行為と行動	17回目 期待される人間像
5回目 「社会問題」について	18回目 「問題行動」の根源
6回目 「社会問題」について	19回目 「問題行動」の根源
7回目 「人間関係」の問題点	20回目 「問題行動」の根源
8回目 「人間関係」の問題点	21回目 「問題行動」の根源
9回目 「人間関係」の問題点	22回目 「問題行動」の誤対処
10回目 「人間関係」の問題点	23回目 「問題行動」の誤対処
11回目 「人間関係」の問題点	24回目 「問題行動」の誤対処
12回目 「人間関係」の問題点	25回目 まとめ
13回目 「人間関係」の問題点	

別途、ガイダンス及び試験を実施する週を設け、全30回以上を目安とする。

教科書

『人間生活の理論と構造』夏刈康男（ほか） 学文社

参考書

『補強版ストレス・スパイラル』服部慶亘 人間の科学社

成績評価基準

終講試験（70%）、受講態度（20%）、小レポート類（10%）で評価する。なお、全講義回数数の3分の2以上の出席が原則（公欠などは申し出ること）。